

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
16	東京純心大学	パイプオルガン A	鎗木 陽子 看護学部 客員教授	1	前期	金	15	14:40～16:10	東京純心大学	5

【到達目標】

1. パイプオルガンの歴史と構造を理解し、楽器に関する正確な情報を説明することができる
2. パイプオルガン特有のタッチを習得し、指先と耳を用いて1本1本のパイプを美しく発音させることができる
3. 讃美歌・聖歌、独奏曲のレパートリーを増やし、礼拝、ミサ、また保育現場の行事における奏楽に応用できる

【授業の概要】

パイプオルガン(以後オルガン)の歴史は古く、はるか紀元前まで遡ることが出来る。中世、ルネッサンス、バロック、19世紀から現代に至るまで、様々な国と時代の作品を演奏することを通して、その当時の息吹を感じ取り、それを私たちの文化にどう生かしていくかを探求する。オルガン音楽は歌と結びついているため、讃美歌や聖歌の弾き方のみならず、弾き歌いも習得できるよう指導する。授業は基本的に本学江角記念講堂の大オルガンを使用する。クラスの中で互いに聴き合いながら、オルガン音楽を学んでいく。

【授業内容】

1. パイプオルガンを知る(1) 江角記念講堂のオルガン
2. パイプオルガンを知る(2) オルガンの歴史
3. パイプオルガンを知る(3) パイプの種類と音色について
4. パイプオルガンを知ろう(4) 美しい音とは何だろう?
5. パイプオルガンを知ろう(5) タッチとリリース(離鍵)、呼吸を意識する
6. オルガン奏法の実際(1) 1本指からはじめよう
7. オルガン奏法の実際(2) 足鍵盤を弾く
8. オルガン奏法の実際(3) 指で笛を歌わせるということ
9. オルガン奏法の実際(4) なめらかに旋律を弾くには
10. オルガン奏法の実際(5) 踵も使って足鍵盤を弾く
11. オルガン奏法の実際(6) 両手と両足を使って弾く
12. ストップとレジストレーション
13. バロックの小品を弾く1(手鍵盤)
14. バロックの小品を弾く2(足鍵盤付き)
15. オルガンによるアンサンブル

【成績評価方法】

作曲家・作品に関するレポート30%、平常点(日々の練習、授業態度、学修意欲)30%、実技試験40% レポートの採点基準は「作品の背景、作曲家の特徴を理解し、自分の言葉で曲の解釈を述べていることができる」という点である。実技試験の採点基準は、「曲の特徴を理解し、オルガンという楽器を十分に鳴らすことができる」という点である。

【教科書】

必要に応じて課題曲、資料を用意する。

【参考書、教材等】

松居直美、廣野嗣雄他『オルガンの芸術 歴史・楽器・奏法』(道和書院)
 近藤岳(編著)梅干野安未・松岡あさひ(著)『オルガン奏法——パイプでしゃべろう! パイプで歌おう!』(道和書院)
 椎名雄一郎『パイプオルガン入門』(春秋社)

※ この授業は、4/8(金)が初回です。